

竹の詩：

適応性と柔軟性についての考え

地面が揺れるとき
折れることなく
しなやかに揺れる術を知っている
竹の知恵は深い

いつ根を張るのか
いつ幹を伸ばしたらよいかを知る
竹の強度は凄い

サラサラと風にそよぐ笹音は
詩的である

春、若竹のうぶ毛に触れることは
究極の喜びである

竹の道を辿ることは
より強く
より柔軟に
そしてより思慮深くなる
ということでもある

ティン：この詩は、道教臭さが漂います。

玲亜：クン、クン！本当？変な臭いなんてしないけど。

ミン：ハハハ。ええ、おそらく、あなたはあまりにも敏感すぎませんか？

悟：とにかく、過剰なイデオロギーは、我々の経験を汚すことができると、言いたいのだと、思います。

- T Newfields (和訳：サブ天)

開始：1995年 静岡市 ・完成：2016年 新北市 v

